

映像制作機材から家庭用再生機器まで、3Dトータルソリューションを提供

## 業界初、効率的なフルHD・3D映像制作を可能にする 「プロフェッショナル用3D映像制作システム」の開発を開始 3D映像コンテンツの制作を加速



3Dカメラレコーダー  
(2009年4月)

当社は、業界で初めて、2眼式P2カメラレコーダーと3D映像記録機、3D映像の評価が可能なプラズマディスプレイを用いて、効率的なフルHD・3D映像制作を可能にする「プロフェッショナル用3D映像制作システム」の開発を開始しました。なお、本システムを本年4月20日から米国ラスベガスで開催される放送機器の展示会「NAB2009」にてコンセプト提案いたしました。

ハリウッドにおいて3D映画の制作が増加する中、これまで、当社は、2008年9月に世界で初めて、ブルーレイディスクとプラズマテレビを核にした家庭用の3Dシアターシステムを提案し（CEATEC2008にて発表・展示）、2009年2月には、ハリウッドの3D映画をブルーレイディスクにオーサリング収録するオーサリングセンター「パナソニックハリウッド研究所アドバンスドオーサリングセンター」を設立（CES2009にて発表）しました。現在、3D映画の制作には多くの労力と時間を要していますが、今回、制作環境の整備と効率化を目指した3D映像制作システム開発を加速することにより、高品質な3D映像コンテンツの制作促進に貢献してまいります。

従来の3D制作システムは、3Dコンテンツ制作者自らが2D映像を取り扱うカメラ、記録機などを組み合わせて、3D制作システムとして構築していましたが、この度、当社では、2眼撮像方式の3Dカメラレコーダーと3D映像記録機と、プロフェッショナルな映像制作現場で求められる高品位な3Dプラズマディスプレイを開発し、制作過程での3D映像の目視評価環境の充実を図ります。

開発するシステムの特長は、以下のとおりです。

- 1) 2眼式P2カメラレコーダーの特長
  - ・2眼式撮像方式により、最高品質の自然な立体映像が得られます。
  - ・P2のメカレスの特長を生かして小型化することで、3D撮影の自由度を飛躍的に向上でき、制作者の創造性を十分に生かした高品位な3Dコンテンツの撮影を可能にします。
- 2) P2の3D映像記録機の特長
  - ・当社が有するP2フォーマットを活用し、フルHD・2チャンネルからなる3D映像記録を実現します。
  - ・P2によるメカレス、コンパクトボディを生かした3D映像記録、編集機を実現し、3D制作フィールドでの高効率プロダクションを支援します。
- 3) 3Dプラズマディスプレイの特長
  - ・「3D駆動システム」により、左右それぞれの映像をフルHDの動画として再現し、大画面での3D映像視聴を実現します。
  - ・自発光であるPDPならではの高い動画応答性や色再現性を生かし、プロフェッショナルな映像制作現場で求められる高品位な3D映像の評価が可能となります。

今後、当社は、開発する3D制作システムにより、高品位な3D映像を効率的に制作できる環境を整えることで、3D映像制作の活発化を促進し、すでに提案中のブルーレイディスクとプラズマテレビを核とした家庭用3Dシアターシステムで、より多くの3D映像をお楽しみいただけるよう、積極的に取り組んでまいります。

### 用語の説明

「P2」とは、当社が放送・プロダクション業界向けにSDメモリーカード技術を応用して開発した高速アクセス・大容量なプロフェッショナル用半導体メモリーカード「P2カード」を使用した、放送用半導体メモリー収録機器システムのことであり、「P2」シリーズは、取材時の高い信頼性はもちろん、カードのリユースによるトータル・メディアコストの削減やメカレスによるメンテナンスコストの大幅な削減を可能にします。また、その高速アクセスによって、従来必要だったデジタル作業を不要にすることにより、制作期間の大幅な短縮を実現し、従来のワークフローを劇的に改善することができます。